

## 『米沢市立病院地域医療ネットワーク会議（Web会議）』を開催しました

令和3年2月4日（木）18時30分から米沢市立病院講義室において『米沢市立病院地域医療ネットワーク会議』を開催しました。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で中止となりましたので、今年度は「Zoom」を使用したWeb会議方式を採用し、市内の医療機関を中心に関係者53名の参加をいただきました。

木村和彦地域医療連携室長の進行で、渡邊孝男病院事業管理者の挨拶、中川勝米沢市長から「米沢市の今後の医療の在り方（ビデオレター）」、佐藤洋一地域医療センター長兼副院長から「当院の今後の地域医療連携の展望」、大串雅俊病院長から「新病院建設の現状」についてそれぞれ報告や講話を行った後、昨年10月に赴任した吉田尚美第二内科長が「胆道ドレナージについての試み」と題した講演を行いました。

終盤には質疑応答の時間を設けて、参加された皆様から質問や意見をいただきました。

この度は初めてのWeb会議ということで、度々映像や音声途切れ、はたまたフリーズ（停止）する等トラブルが発生し、苛苛が募る会議となってしまう本当に申し訳ありませんでしたが、多少の天候不良には左右されないWeb会議を開催できたことは大変有意義であったと考えており、今後も積極的な活用を検討しております。

なお、今回の会議の様相について、後日「YouTube」にて視聴可能（要約版）となりましたら、改めてご案内させていただきますので是非ご覧ください。



米沢市立病院  
〒山形県米沢市相生町6番36号  
TEL：0238-22-2450  
地域医療連携室直通  
TEL：0238-22-2613  
FAX：0238-22-2624

## 重点支援区域に選定されました

医療機能の再編等を進める病院に対して厚生労働省が財政支援等を行う「重点支援区域」に米沢市立病院、三友堂病院、三友堂リハビリテーションセンターを対象とした「置賜区域」が選定された旨、令和3年1月22日に山形県より発表されました。選定は地域単位で医療機関の機能分担と連携強化を促すことが狙いで、山形県内では初めてのことです。

### ●重点支援区域とは

経済財政運営と改革の基本方針2019（令和元年6月21日閣議決定）において、地域医療構想の実現に向け、全ての公立・公的医療機関等に係る具体的対応方針について診療実績データの分析を行い、具体的対応方針の内容が民間医療機関では担えない機能に重点化され、2025年において達成すべき医療機能の再編、病床数等の適正化に沿ったものとなるよう、重点支援区域の設定を通じて国による助言や集中的な支援を行うこととされています。

### ●想定される国の支援

【財政的支援】：厚生労働省の新たな病床機能の再編支援を一層手厚く実施

【技術的支援】：地域医療連携推進法人設立に向けた助言等、医療機能分化・連携に向けた技術的支援

### ●病院の再編統合の概要（令和5年度に新病院開院予定）

病院名	再編前	再編後
米沢市立病院	322床	270床（急性期へ特化）
三友堂病院	185床	199床程度（回復期・慢性期へ特化）
三友堂リハビリテーションセンター	120床	※ 三友堂リハビリテーションセンターは三友堂病院に統合
合計	627床	469床程度（▲158床）

### ●これまで選定された区域（11道県14区域）

- 宮城県（仙南区域、石巻・登米・気仙沼区域）
- 滋賀県（湖北区域）
- 北海道（南空知区域、南檜山区域）
- 新潟県（県央区域）
- 兵庫県（阪神区域）
- 岐阜県（東濃区域）
- 山口県（柳井区域、萩区域）
- 岡山県（県南東部区域）
- 佐賀県（中部区域）
- 熊本県（天草区域）
- 山形県（置賜区域）



<新病院イメージ図>

2023年に現在の当院敷地内にそれぞれの新病院（米沢市立病院・三友堂病院）の開院を予定しております。

今後の当院の動向に注目くださいますようお願いいたします。